

<話を聴く活動①> …口司 仏名寺 森屋住職にお会いしました。

檀家の方たちの何か役に立ちたいと、2年前から野菜の直売を始められました。地域の遊休倉庫で毎週月水金の16:00~17:00に野菜を集荷後ご自身の車で物流し、販売は伏見区(京阪淀駅近く)の住職実家を改築した直売所「こうしのさと」で、店員が売られていました。

<集荷倉庫>



人気商品は、『八ツ尾米』:

口司の8つの山(尾根)から湧き出た水で育てたお米を、精米したてで小口販売 :800円/2kg

そして西田薫さん(御年90歳)をはじめ口司の皆さんの笑顔がパワー

<直売所:こうしのさと>



<八ツ尾米>



<話を聴く活動②> …口司の陶芸家 須藤久男さんにお会いしました。

須藤さんは39年前に東京から越して来られ、精力的な芸術活動をされています。須藤さんにとって日本の原風景は「田園」でなく「森」、日本人は古代森で生きてきたと見せて頂いたのは石臼(ゴロゴロと揺れる)の石器でした。この種(実)面白い! 自然の中には人間の創造性超えた多様な形が有る。生き物は多様だから強い。人間も同じ、異なる考えでもお互いを認めあい尊重する事で、未来が開ける!

<シリーズ奄美>



<庭から出土の石器>



<種(実)形の多様性>

<NPOの活動報告> :子ども未来塾



(1/7:和菓子体験)



(1/7:和食お作法体験)



(1/21:楽器に触ってみよう)



(1/21:漢字クイズ大会 立命館久保先生)

ま け た か や ま 摩気高山新聞(No4) :新年号特集

謹賀新年

本年もよろしく
お願いいたします。



新春偶感

淑気漫漫丁酉春
母黌雖閉趣還新
須期邑子溢交誼
郷苑隆昌禱庶神

目出度い気配が溢る
酉年の新春
母校は閉校になったが
子供未来塾や地域振興
の拠点として活用
村人全て交流を深め
友情を厚くする事を
心に決めて
故郷の発展を
多くの神々に祈る



<お正月の食 ミニ講座> :子ども未来塾「和食講座」から (杉本節子先生)

◎お正月だけの料理

- ①お屠蘇(とそ)・・・薬草をひたしたお酒
- ②大福茶(王服茶)・・・昆布と梅干しの入ったお茶
- ③お雑煮・・・元旦から3日まで食べる白味噌雑煮
 - ・丸餅:昔は丸餅がお年玉
 - ・頭芋:人の頭に立てるように
 - ・小芋:子孫をたくさん増やせるように
 - ・祝い大根:大地に根をはるように力強く
- ④三種の祝い肴(さかな)
 - ・かずのこ:子だくさんになれますように
 - ・ごまめ:お米など多く実りますように
 - ・たたきごぼう:運が開けますように
- ⑤黒豆:健康でいられますように(豆に働く)
- ⑥お煮しめ
 - ・小芋、ごぼう、赤人参、くわい、れんこん、椎茸



◎お年玉のいわれ

鏡餅には歳神様の御魂(みたま)が宿ります。
お正月には、家長が家族にこの餅を分け与えた。
その年の魂 ⇒ 年魂(としだま)



◎なぜ「お雑煮」を食べる餅を食べることで体「その年の魂」を取り込んだ。

◎松の内(1月15日までの行事)

- ・1月7日(七草粥):健康に生きますように・・・せり、なずな、ごぎょう、はこべら、ほとけのざ、すずな、すずしろ
- ・1月15日(小豆粥):小豆の赤は魔よけ

<「摩気地区親子の集い 企画実行委員会」参加へのお願い！>

昨年8月の「夏休み体験キャンプ&たそがれコンサート」には、多くの皆さんに参加頂き有難う御座いました。子ども達からはもっと”お祭り”風への希望も出ていますが、今年は中高生&祖父母世代の参加含めた”夏祭り”を計画したく、多くの皆様へ「企画実行委員会」への応募参加をお願いします。

応募方法:小林康夫(里の公共員)へFaxもしくは連絡下さい! (Fax:0771-62-0420 Tel:080-4253-6489)

<2月のNPO行事予定>

- ・2月 5日(日) 漢字能力検定の試験日:成人・中学生・ご父兄含め85名が旧小学校で受験
- ・2月 9日(木) 伝統文化部会「摩気」誌編集委員会(第7回)
- ・2月25日(土) 子ども未来塾(No7):国語、算数、理科実験、京都市内見学(京都鉄道博物館他)